

教養講演会

9月7日（月）、山形県教育委員会「山形の未来をひらく教育推進事業」の一環として、「山形西高校教養講演会」を本校体育館で開催しました。グローバル化が進む世界において活躍されている方々のお話をお聴きし、生徒のキャリア形成に資することを目的に、毎年開催しています。

今年度は、講師として 関西大学政策創造学部 教授 白石真澄先生 をお招きして、「イノベーションを起こす思考法」と題して講演していただきました。白石先生は、大学で教鞭をとる傍ら、これまで、企業の社会取締役や監査役として、また、内閣府規制改革会議や教育再生会議などの政府各種委員会委員として、活躍されています。

白石先生は、講演の冒頭で、普段私たちが何気なく使っている文房具などを例に出しながら、「『イノベーション』とは、新しい仕組みをつくることにより、問題を解決し、新たな価値を生み出して社会的に大きな変化を起こすこと」であることを分かりやすく説明されました。そして、先の読めない不透明なこの時代、学歴や性別、年齢などといった従来の既成概念は崩壊しており、女性が活躍できる時代になっていること、そのような時代の中、最後には一人で生きていくためのライフプランを具体的に考えていかなければならないこと、などについて、本校生とやりとりしながらお話しされました。

講演の終盤では、イノベーションを起こすためには、「『こんなことが出来たら』を明確にする」「『何で便利にならないのだろう』と物事を疑って考えぬく」「様々な角度から事象を見る」「仲間を巻き込む」「若い人に与えられた特権である『失敗』から学ぶ」「出る杭になって打たれる」ことが大切であり、「好奇心」「持続性」「楽観性」「柔軟性」「冒険心」の5つの原則で思考、行動することが必要だ、と力説されました。

生徒からもたくさんの質問が出され、あっという間に時間が過ぎ去りました。これからの未来を担う本校生に元気を与えてくださった白石先生、本当にありがとうございました。先生の益々の御活躍を祈っております。

